

非文字資料研究

The Study of Nonwritten Cultural Materials

NewsLetter

2004.6
No.4

CONTENTS

表紙写真説明



祭署儀礼（龍神祭り）を行う東巴・和学文氏・82歳
（中国・麗江納西族自治州 2004.3.9）

納西語で“智者”を意味する東巴は、祭天・祭風・祭署などの宗教的儀式を執行する祭司であり、神霊を招くシャーマンの職能をもつとともに、医者・学者、神像を描く画家、古楽を演奏、神舞を舞う芸能者でもあり、家普請の折の大工の棟梁でもあった。納西族の民族文化の中心に東巴の存在があり、その知識が象形文字、東巴文字により伝えられてきた。しかし、現在東巴經典の読誦、儀礼の執行ができる東巴は数えるほどになってしまった。（佐野 賢治）

ご挨拶 3
大野 泰（学校法人 神奈川大学理事長）

対談 4

感性のモデル化 人類学の立場から

尾本 恵市×川田 順造

研究エッセイ ESSAY

2 脚の椅子が跨ぐ空間と時間

ムテサ1世のトーネット#14 12

小馬 徹

非文字資料としての日本語を考える

音訓、当て字、語源 14

山口 建治

非文字資料としての景観 16

八久保 厚志

中国図像学という迷宮 18

佐々木 睦

海外博物館事情 Foreign Museums

威厳と挑戦

大英博物館の非文字資料から広がる風景 20

大西 万知子

フィールドノート Field Note

中国雲南省麗江調査記 東巴文化の今昔

1 東巴經典と現代に伝わる原初的な紙製法 22

田上 繁

2 世界常民 雲南省で考える 23

中村 政則

3 麗江と大理の狭間で考えたこと 24

的場 昭弘

4 “観光”という情報発信 25

佐野 賢治

受贈資料一覧 27

主な研究活動 29

研究担当者紹介・編集後記 他 31

Report & Information 32